NEWS RELEASE

2026年11月16日
全国新スマート物流推進協議会

第5回ドローンサミット出展と「新スマート物流シンポジウム」開催のお知らせ
～国産量産化と次世代社会インフラの構築を目指したドローン社会実装の新時代について議論～

全国新スマート物流推進協議会（東京都渋谷区、会長：竹中 貢 北海道上士幌町長、以下 本協議会）は、2026年11月27日（金）・28日（土）にビッグパレットふくしまで開催される「第5回ドローンサミット」に出展すると共に、初日の27日には、「新スマート物流シンポジウム」を開催いたします。

出展ブースでは、新スマート物流の社会実装事例や実績等を紹介すると共に、最新の物流ドローン2機を展示し、ドローンや自動配送技術を組み込んだ新たな物流モデルの可能性について広く発信します。

さらに、会期初日（11月27日）には、本協議会主催で「ドローン社会実装の新時代へ～政策投資を追い風に挑む、国産量産化と次世代社会インフラの構築～」をテーマに、「新スマート物流シンポジウム」を開催します。

本協議会のドローンサミットへの出展は、過去4回に続き5回目となります。また、今回で5回目となる本協議会主催の「新スマート物流シンポジウム」は、前回名古屋でドローンサミット内のプログラムとして開催された形と同様、今回もドローンサミット内のプログラムとして開催することで、より広く「新スマート物流」の認知と理解の拡大を図るものです。



本協議会は、既存の陸上配送とドローン配送の組み合わせなど地域のモノの流れを効率化・最適化する新スマート物流を通じて、地域社会が共通して抱える買物弱者、医療弱者、交通弱者、災害対応等の様々な社会課題解決へ貢献することを目指し2022年5月16日に設立されました。

今やドローンは、政府の成長戦略における重点分野の一つに位置付けられ、官民を挙げた政策投資や防衛・安全保障などの需要拡大を背景に、国内産業として大きな転換期を迎えています。長年の課題であった「国産部品によるサプライチェーンの強靭化」や「量産化による高性能・低コスト化」への道筋が具体化しつつあり、ドローンが次世代社会インフラとして本格普及するための環境が整いつつあります。

こうした追い風を確実に捉え、今こそドローンの社会実装を一段と加速させることが極めて重要で、特に物流、防災、医療、農業をはじめとする多様な分野において、平時と有事の双方で機能する持続可能なインフラを確立し、人口減少や地域弱体化といった課題の解決へ直結させることが求められています。

そこで第5回ドローンサミットへの出展と、シンポジウムを通じて、本協議会では、国産ドローンの政策動向やメーカーの量産化に向けた挑戦を共有するとともに、多数機同時遠隔運航などの先進技術が拓く運用の未来像について多角的に議論します。また、全国新スマート物流推進協議会として産官学の連携を一段と深め、政策投資による産業基盤の強化を、確固たる需要創出と新スマート物流の社会実装へと結びつける契機といたします。

【第5回ドローンサミット開催概要】（https://robotfesta-fukushima.jp/）
■会期：2026年11月27日（金）10:00～17:00　・28日（土）10:00～16:00
■会場：ビッグパレットふくしま（福島県郡山市南2丁目52番地）
■主催：経済産業省・国土交通省
■ブース小間番号：D-23
■参加方法：無料：

NEWS RELEASE

【全国新スマート物流推進協議会企画 第４回新スマート物流シンポジウム概要】
■日時：2026年11月27日（金）15:30～17:00
■会場：ビッグパレットふくしま 3階 小会議室2、3（第５回ドローンサミット内プログラム）
■参加費：無料
■タイトル：ドローン社会実装の新時代へ～政策投資を追い風に挑む、国産量産化と次世代社会インフラの構築～
■公式サイト：
■メディアご取材申込はこちら（申込締切 11月25日17時）
■プログラム（予定）
◇代表者挨拶：全国新スマート物流推進協議会 会長/上士幌町長　竹中 貢 氏

◇オープニング講演：
「災害に強い国づくりとテクノロジーの実装　～福島の復興と平時と有事をつなぐ新たな社会インフラの構築～」
　　福島県選出 参議院議員　森 まさこ 氏

◇テーマ講演：
「ドローン産業振興に向けた最近の施策」
　　経済産業省　製造産業局 航空機武器産業課 次世代空モビリティ政策室 室長　長尾 勝昭 氏

◇パネルディスカッション①：
「国産ドローン産業の新たな成長ステージ ～政策投資を追い風に、量産化と社会実装をいかに加速させるか～」
　　パネリスト：　イームズロボティクス株式会社 代表取締役社長 曽谷 英司 氏
　　株式会社エアロネクスト 代表取締役社長 グループCEO（本協議会 理事）田路 圭輔 氏
　　モデレーター：　セイノーホールディングス株式会社 専務執行役員（本協議会 理事）河合 秀治 氏

◇パネルディスカッション②：
「数機同時遠隔運航が拓くドローンの未来 ～デマンドオーナーと国産メーカーの挑戦～」
　　パネリスト：　株式会社ヤマタネ　食品カンパニー アグリイノベーション事業部 事業部長 北村 公孝 氏
　　株式会社マゼックス　代表取締役社長　吉野 弘晃 氏
　　モデレーター：　株式会社エアロネクスト（本協議会 運営委員）洞 瑞希 氏

◇閉会の挨拶：全国新スマート物流推進協議会 副会長/小菅村長 舩木 直美 氏
※プログラムおよび登壇者は変更の可能性がございます。ご了承下さい。

以上

【このニュースリリースへのお問い合わせ】
全国新スマート物流推進協議会事務局（担当：伊東・高井）　Email: info@smartlogistics.jp

資料

【新スマート物流とは】
買物弱者、医療弱者、災害対応といった地域社会の抱えるさまざまな課題に物流は大きく関係しています。また、人手不足、環境・エネルギー問題、DX化対応など、物流業界自体が抱える課題も多く存在しています。そのような課題の解決にデジタルとテクノロジーを活用することが、地域物流の持続性を保ち、豊かで活き活きと暮らせる地域を守るためには不可欠です。具体的には、地域の中での荷物の動きの最適化、地域に出入りする荷物の動きの集約と効率化、陸送・空送のベストミックス、貨客混載、自動化技術等の複層的な活用により地域社会のモノの流れを最適化させ、省人化対応、脱炭素化を実現していくこと。それが「新スマート物流」の概念です。

【全国新スマート物流推進協議会とは】
自治体を中心に民間企業の知見も広く結集し、物流業界内外の垣根も超えたオープンな情報交換、経験値の共有、議論・研究を行い、新スマート物流のより早い社会実装を通じて豊かな地域社会づくりに貢献することを目的に、5つの自治体(*)を発起人に2022年5月16日に設立された団体。自治体や物流会社等の事業者を中心に現在60以上の会員が加盟。
現在、既存の陸上配送とドローン配送の組み合わせを中心に、地域社会のモノの流れを効率化・最適化し、ラストワンマイル物流を持続可能にするための様々な取り組み、活動を官民連携で精力的に進めています。
(*)北海道上士幌町、山梨県小菅村、茨城県境町、福井県敦賀市、北海道東川町）
◆詳細は https://smartlogistics.jp/をご覧下さい。